

皇居・千鳥ヶ淵の桜とともに楽しもう “桜”をはじめ“花”を描いた作品の特集展示 「美術館の春まつり」

皇居や千鳥ヶ淵、北の丸公園といった桜の名所エリアに立地している東京国立近代美術館。散策で巡るにも絶好のロケーションであることから、当館では桜の開花に合わせて、春にちなんだ催しを開催します。題して「美術館の春まつり」。桜が描かれた重要文化財、川合玉堂《行く春》を年に一度、この時期だけ公開するほか、花を描いた春らしい作品が会場の一室に並びます。また、日本画、洋画、海外作品など、選りすぐりの約200点を3フロアにわたってご覧いただけます。美術館で味わう春を、どうぞご堪能ください。

期間と会場

■期間：2021年3月23日(火) - 4月11日(日)

■会場：東京国立近代美術館

展覧会

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」

(3月23日(火) - 5月16日(日)、4-2F 所蔵品ギャラリー)

年に一度、この時期にだけ桜を描いた重要文化財、川合玉堂《行く春》を今年も公開します。また、しだれ桜ほか40種類を超える希少な桜を描いた跡見玉枝《桜花図巻》や、安田靉彦《木花之佐久夜毘売》、船田玉樹《花の夕》など、花を描いた名画が並ぶ様子は必見です。ほかにも、川瀬巴水、笠松紫浪、土屋光逸ら「新版画」や、釜我敏子《型絵染着物 春の野》など様々な春の情景約20数点を、一室に集めたほか会場各所にも展示します。千鳥ヶ淵や美術館周辺の桜との競演を是非お楽しみください。

明治から現代まで100年を超える日本美術の流れがご覧いただける所蔵作品展「MOMAT コレクション」では、13,000点を超える所蔵作品の中から選りすぐりの約200点を展示、岸田劉生や安井曾太郎、セザンヌなどおなじみの作品が並びます。お気に入りの作品を探しながらの鑑賞もおすすめです。



01



川合玉堂《行く春》1916年 重要文化財 02:左隻 03:右隻 04:連結



船田玉樹《花の夕》1938年 05

同時期開催

○企画展「あやしい絵展」 (3月23日(火) - 5月16日(日)、1F 企画展ギャラリー)

「単なる美しいもの」とは異なる、退廃的、妖艶、神秘的な「あやしい絵」を紹介。

○コレクションによる小企画「幻視するレンズ」 (3月23日(火) - 5月16日(日)、2F ギャラリー4)

さまざまな催し

○桜を見ながらひと休み

前庭に床几台によるお休み処をご用意。

○春らしいオリジナルグッズ

ミュージアムショップでは、春らしいオリジナルグッズを販売。



06



07

詳細

■「美術館の春まつり」開催概要

○所蔵作品展「MOMAT コレクション」 (3月23日(火) - 5月16日(日)、4-2F 所蔵品ギャラリー)

観覧料: 一般 500 円、大学生 250 円 (金曜・土曜の 17 時以降は一般 300 円、大学生 150 円)

※高校生以下および 18 歳未満、65 歳以上、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料

※所蔵作品展入館当日に限り、コレクションによる小企画「幻視するレンズ」もご覧いただけます。



跡見玉枝《桜花図巻》(部分)1934年 08



川瀬巴水《井の頭の春の夜》
1931年 09



釜我敏子《型絵染着物 春の野》
1992年 10

○前庭に床几台によるお休み処をご用意。散策や鑑賞後のひと休みに、桜を眺めながらのひとときをお過ごしください。

○ミュージアムショップでは春らしいオリジナルグッズを揃えました。

《桜花図巻》のマスキングテープやチケットファイルなどを販売します。

○「美術館の春まつり」ウェブサイトにて、春まつり展示作品や美術館周辺情報などを紹介します。

<https://www.momat.go.jp/am/exhibition/springfest2021/>



「美術館の春まつり」
ウェブサイト QR コード

■同時期開催

○企画展「あやしい絵展」 (3月23日(火) - 5月16日(日)、1F 企画展ギャラリー)

明治期、美術は西洋からの刺激を受けて、新たな時代にふさわしいものへと変化していきました。本展では、幕末から昭和初期に制作された絵画、版画、雑誌や書籍の挿図などから、退廃的、妖艶、グロテスク、エロティックといった「単なる美しいもの」とは異なる「あやしい」表現を紹介します。「美術館の春まつり」とあわせてご覧ください。

観覧料: 一般 1,800 円、大学生 1,200 円、高校生 700 円

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者は無料

※「あやしい絵展」観覧料で、入館当日に限り、所蔵作品展「MOMAT コレクション」、コレクションによる小企画「幻視するレンズ」もご覧いただけます。

○コレクションによる小企画「幻視するレンズ」 (3月23日(火) - 5月16日(日)、2F ギャラリー4)

人の眼とは異なる「機械の眼」であるカメラは、写真家の想像力と結びつくとき、眼の前の現実に幻想的な世界への扉を開くことがあります。写真のもう一つの側面を探る特集です。

観覧料: 所蔵作品展「MOMAT コレクション」の観覧料でご覧いただけます。

■美術館概要

・会場: 東京国立近代美術館 東京都千代田区北の丸公園 3-1 (東京メトロ東西線「竹橋駅」(1b出口)徒歩 3 分)

・休館日: 月曜日 (ただし 3 月 29 日は開館)

・開場時間: 10:00-17:00 金曜・土曜は 20:00 まで

いずれも入館は閉館の 30 分前まで、同時期開催の企画展「あやしい絵展」は 9:30 開場

・お問い合わせ: 050-5541-8600 (ハローダイヤル) <https://www.momat.go.jp> (ホームページ)

※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、開催内容、開館時間等が変更になる可能性がございます。最新情報はホームページにてご確認ください。

報道関係のお問い合わせ先

広報担当: 藤田、高橋、永田 TEL: 03-3214-2597 FAX: 03-3214-2577 e-mail: pr@momat.go.jp